

# カレッジ通信

編集・発行  
東京建築カレッジ

授業見学  
大歓迎！

TEL  
03-  
5950-1771

## 「社会課題に建築は何ができるか」考える公開講座 課題解決の専門家育てる、建築カレッジの役割を確認



東京建築カレッジ  
第20回公開講座

第一部で、本校講師の関谷真一さんと世田谷区で建築設計事務所を主宰する鈴木陽子さんが古民家改修の事例を報告。地

会場の「けんせつプラザ東京」5階大会議室が参加者でいっぱい

10月21日（日）、秋晴れの好天の下、第20回公開講座「古民家を活かす、ひろく、つなげる。」コミュニティデザイン視点の視座から開催しました。前回の公開講座よりも1割多い約160人が参加しました。テーマへの関心の高さ、建築の担い手を育てる学校への期待を感じます。

域の歴史を物語る、その再生はコミュニティの再建に通じることを強調しました。  
第二部は、関谷、鈴木両氏に、本校の卒業生2人が加わっての討論に。4期生の向中野元さん（大工）は市民向けワークショップの実践を紹介、10期生の増井小綾さん（設計）は、奈良県の旧宇陀松山町（06年、重要伝統的建造物群保存地区に指定）に移り住んだ経緯、そこでの暮らしの魅力を語りました。4人の討論の中で、古民家の改修を担う技術者の存在、育成がきわめて重要であることが浮き彫りになりました。  
◇ 人と自然にやさしい建

築をめざす観点から今、木造建築が世界的に注目されています。日本の風土に合わせて発展してきた伝統の建築から何を学ぶか。その到達点をしっかりと引き継ぎ、現代に発展させるために建築の専門家は何をすべきなのか。「空き家」対策を前向きにとらえるにはどうしたらいいか。先達の技術を受け継ぐ若手人材の確保と育成の緊急性など。現代の建築をめぐる重要なテーマを重層的に問題提起した刺激的なセッションとなりました。

### 第24期生（2019年4月入学）募集

#### 第3回募集

- ◆学校説明会・・・11月21日（水）
- ◆締切・・・11月29日（木）
- ◆試験日・・・12月5日（水）

#### 第4回募集

- ◆学校説明会・・・1月23日（水）
- ◆締切・・・1月31日（木）
- ◆試験日・・・2月6日（水）

※入学願書等応募書類をご請求ください。  
 ※説明会、試験共に池袋校舎が会場です。  
 ※説明会の開催時間  
 ①午後2時 ②午後7時 [所要時間1時間半程度]  
 ※試験の実施時間 午前9時30分～午後4時  
 ※入学時35歳以上と大企業の方の試験は、第4回選考会となります。

◇授業は毎週金曜・土曜日（年末年始除く）。いつでも見学可能です。見学時に学校説明もできます。

### カレッジ入学からはじまる 新しい人生



カレッジ卒業生も事例報告。東京・谷中の大工、向中野元さん（4期生）と、古民家改修を数多く手掛ける一級建築士、増井小綾さん（10期生）。向中野さんは「まちの教室『KLASS』」に参加し、ものづくりの楽しさを広めている。増井さんは旧宇陀松山町での暮らしを通じての発見、歴史的な街並みを維持するための建築専門家の役割について語りました。

# カレッジの先生ってどんな人 第3回

「住宅計画演習」担当：

原田 勉さん

一級建築士、カラビナー級建築士事務所 代表



――普段のお仕事は？

中野区中央で建築設計事務所を運営しています。住宅の耐震診断・耐震改修が主な仕事です。自宅のある国立市では地域の人たちでつくる「向こう三軒両隣@くにたち」という市民グループに参加しています。居場所づくりの活動で、福祉的な要素のある多機能コミュニティスペースの計画や設計にも関わっています。

――カレッジ講師着任のきっかけ

「一級建築士事務所 長谷川敬（ひろし）アトリエ」で共に働いていた西川みつ子さん（11期生、東京建築カレッジ講師）から「山本厚生先生が長年やっていた住宅計画の授業を引き受けませんか」と誘われたことです。一昨年に初めてカレッジに来て山本先生の授業を少しお手伝いさせていただき、昨年からは担当しています。

――カレッジ生の印象

元気ですね。学校自体、これほど実務的なことをやっている建築の学校は他にないと思います。たんなる机上の勉強ではありません。授業のやり方もしゃべるだけでなく、手を動かす課題を随時取り入れるなど参加型の工夫をしなきゃダメだなと最近わかってきました。

――「住宅計画」授業を通して一番伝えたいこと。

暮らしを見つめ直すきっかけにしてほしい。建築カレッジの住宅設計の授業は、暮らしと間取りの関係から始める住宅計画に始まり、2年次の50分の1スケールの意匠模型づくりまで複数の科目横断で続きますが、敷地条件など制約を与えたうえで、ここまで自由な発想を引き出そうと組み立てられている教育プログラムは他ではなかなかありません。自由であるがゆえに難しい面もありますが、指導しがいい科目だと思っています。

自由な発想引き出す設計の授業

## 名物授業をミニ公開講座で

今年度のミニ公開講座が10月26日、池袋校舎でスタートしました。第1回の出席は16人。「構造力学と建築の美」（担当は松田紘講師＝写真）。

第2講（11月23日・金曜）から、4ミリ角のヒノキの棒を綿糸で接合し、自重（100g以下が条件）の数百倍の重



さに耐えられる構造体模型づくりが始まります。ぜひご参加を！

## 大工技術を通して学ぶ建築の基礎

### 見学はお気軽に！



（左写真）

10月27日、伝統構法も取り入れた実習棟実習は、墨付けから刻みに入りました。ミス避けるために打ち合わせを慎重に重ねながら作業を進めています。

1年生の授業から

右写真は10月27日の「建築施工実習」授業の様子。寄棟屋根の構造材「檼隅木」製作を図面理解から始めます。2年生は11月9日から奈良研修へ。卒業制作も大詰めを迎え、2年間の中でもっとも密度の濃い日々が展開していきます。



2年生の授業から